

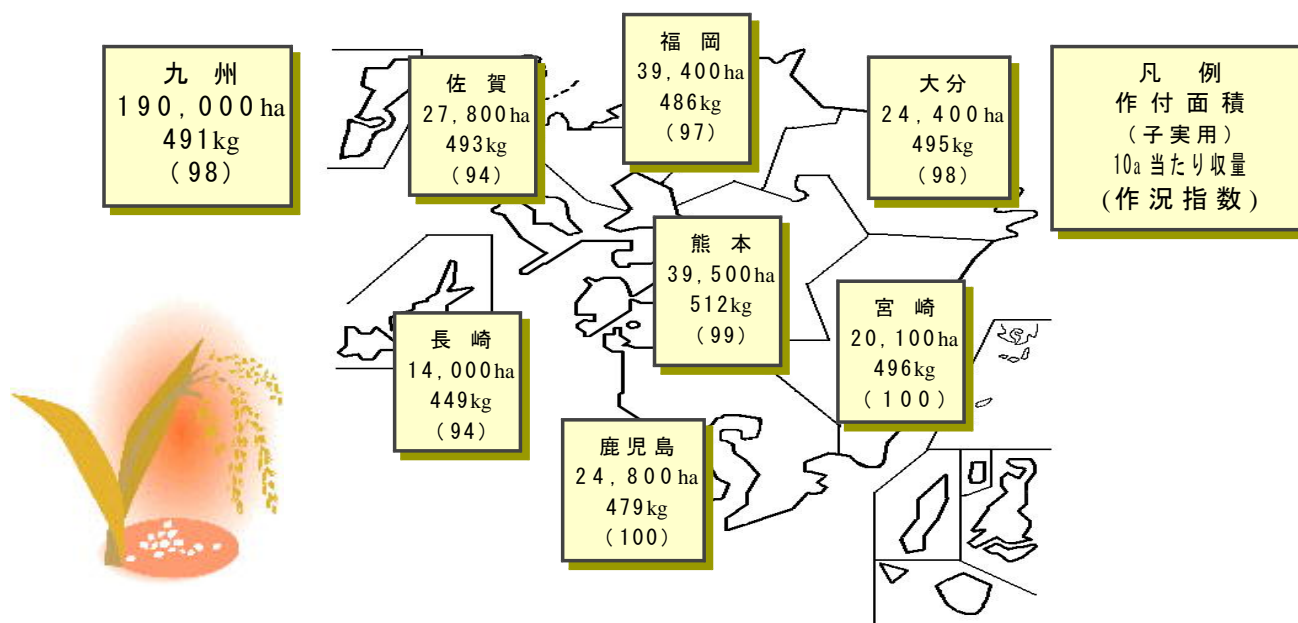
平成22年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）（九州）

—— 10a 当たり予想収量は491kg（作況指数98）の見込み ——

【調査結果の概要】

- 九州における平成22年産水稻の作付面積（子実用）は19万haで、前年産並みとなりました。また、主食用作付見込面積は、18万8,400haが見込まれます。
- 水稻の作柄は、出穂期以降おおむね天候に恵まれ登熟は順調に推移したものの、全もみ数が少ないことや高温の影響及び病虫害の発生により被害が拡大したことから、10a 当たり予想収量は491kg（作況指数98）が見込まれます。
- この結果、予想収穫量（子実用）は93万3,000tが見込まれます。また、主食用作付見込面積に10a 当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は92万5,100tが見込まれます。

図 県別水稻作付面積及び10a 当たり予想収量（10月15日現在）



- 作付面積（子実用）とは、青刈り用の面積を除いた作付面積です。
- 主食用作付見込面積とは、作付面積(青刈り面積を含む) から、需給調整の取組として取り扱う米穀等（加工用米、新規需要米等）の面積を除いた面積（見込み）です。
- 作況指数とは、10a 当たり平年収量に対する10a 当たり予想収量の比率です。
- この調査は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行いましたが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数、登熟状況等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行いました。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがあります。

本統計調査結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。

【<http://www.maff.go.jp/kyusyu/toukei/index.html>】

この統計調査における調査目的、調査対象などは、【調査の概要】P8に掲載しています。

【調査結果】

1 作付面積

水稻の作付面積（子実用）は19万haで、前年産並みとなりました。
また、主食用作付見込面積は、18万8,400haが見込まれます。

2 作柄概況

(1) 早期栽培水稻（主産県：宮崎・鹿児島）

作柄は、宮崎が10a当たり収量479kg（作況指数100）、鹿児島が同430kg（同98）となりました。

これは、田植期の低温・日照不足により生育が抑制されたものの、出穂期以降天候に恵まれ、台風の襲来もなく登熟が「やや良」となったためです。

(2) 普通栽培水稻

ア 全もみ数は、穂数が少なかったことから、九州各県、「やや少ない」ないし「少ない」となりました。

イ 登熟は、出穂期以降おおむね天候に恵まれ、台風の襲来はなかったことから九州各県、「平年並み」ないし「良」が見込まれます。

ウ 作柄は、出穂期以降、高温傾向に推移し一部で登熟が阻害され、また、紋枯病やウンカの発生により被害が拡大したことから、福岡は10a当たり予想収量486kg（作況指数97）、佐賀は493kg（同94）、長崎は449kg（同94）、熊本は512kg（同99）、大分は495kg（同98）が見込まれます。

一方、宮崎及び鹿児島については、出穂期以降、高温傾向に推移したものの、日照時間が平年を大きく上回ったことから、宮崎は509kg（同100）、鹿児島は494kg（同100）が見込まれます。

(3) この結果、九州の10a当たり予想収量は491kg（作況指数98）が見込まれます。

3 予想収穫量

予想収穫量（子実用）は93万3,000tが見込まれます。

また、主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は92万5,100tが見込まれます。

4 被害状況

早期栽培では、気象被害及び病虫害の発生も少なかったことから、被害は少なくなりました。

普通栽培では、気象被害は、6月下旬から7月上旬及び7月下旬の日照不足により分げつが抑制され、出穂期以降、高温傾向に推移したことから一部で登熟が阻害されました。また、病虫害では紋枯病及びウンカの発生により被害が拡大したことから、被害はやや多いと見込まれます。

表1 平成22年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在：九州）

区 分	作付面積 (子実用)			10a当たり 予想収量	予想収穫量 (子実用)	前年産との比較		(参 考)			
	①	前年産との比較				対 差	対 比	主食用 作付見込面積 ④	予想収穫量 (主食用) ⑤=④×②	10a当たり 平年収量 ⑥	作 況 指 数 ⑦=②/⑥
		対 差	対 比								
九 州 計	190 000 ^{ha}	200 ^{ha}	100 [%]	491 ^{kg}	933 000 ^t	△ 27 700 ^t	97 [%]	188 400 ^{ha}	925 100 ^t	502 ^{kg}	98
福 岡	39 400	0	100	486	191 500	△ 5 100	97	39 000	189 500	499	97
佐 賀	27 800	900	103	493	137 100	△ 4 700	97	27 700	136 600	527	94
長 崎	14 000	△ 100	99	449	62 900	△ 4 600	93	13 900	62 400	476	94
熊 本	39 500	△ 200	99	512	202 200	△ 2 300	99	39 100	200 200	515	99
大 分	24 400	△ 400	98	495	120 800	△ 3 700	97	24 300	120 300	503	98
宮 崎	20 100	△ 100	100	496	99 700	△ 4 100	96	20 000	99 200	495	100
早期栽培	8 580	△ 180	98	479	41 100	△ 4 200	91	478	100
普通栽培	11 500	100	101	509	58 500	100	100	509	100
鹿 児 島	24 800	100	100	479	118 800	△ 3 200	97	24 400	116 900	479	100
早期栽培	5 890	90	102	430	25 300	△ 1 700	94	439	98
普通栽培	18 900	0	100	494	93 400	△ 1 500	98	492	100

注： 1 作付面積（子実用）及び主食用作付面積はラウンドしているため、県ごとの積み上げ値と九州計は一致しない場合があります。

2 予想収穫量（子実用及び主食用）の九州計は県の積み上げ値であるため、表頭の計算とは一致しない場合があります。

表2 平成22年産水稻の県別作柄概況（10月15日現在）

区 分	10a 当たり 予想収量	(参 考)		刈 取 期					(平 年 比 較)				刈 取 済 面 積 割 合	対 平 年 差
		10a 当たり 平年収量	作況指数 ③=①/②	始 期	最 盛 期	終 期	最盛期の比較		穂 数 の 多 少	1 も み 穂 当 た り 少	全 も み 数 の 多 少	登 熟 の 良 否		
							平 年	前 年						
							比 較	比 較						
①	②	③	月 日	月 日	月 日	日	日					%	ポイント	
福 岡	486	499	97	8.31	10. 2	…	2日早	2日早	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み	88	1
福 岡	468	481	97	8.27	10. 6	…	3日早	4日早	やや少ない	やや少ない	やや少ない	やや良	93	1
北九州・豊前	483	481	100	8.23	9.18	…	1日早	1日早	少ない	多い	平年並み	やや良	94	0
筑 豊	472	485	97	8.24	9.19	…	2日早	2日早	少ない	やや多い	少ない	やや良	93	1
北筑後	506	519	97	9.19	10. 9	…	3日早	2日早	やや多い	やや少ない	やや少ない	平年並み	87	1
南筑後	489	517	95	9.24	10.11	…	1日早	並み	平年並み	やや少ない	やや少ない	やや不良	76	1
佐 賀	493	527	94	8.31	10. 9	…	1日遅	1日遅	やや少ない	やや少ない	少ない	平年並み	66	△ 5
佐 賀	504	536	94	9.17	10.10	…	1日遅	並み	平年並み	やや少ない	やや少ない	平年並み	61	△ 5
松 浦	448	492	91	8.19	9.26	…	1日遅	並み	少ない	やや少ない	少ない	やや良	89	△ 3
長 崎	449	476	94	8.23	10.12	…	2日遅	並み	少ない	やや少ない	少ない	やや良	64	△ 10
西 彼	435	477	91	9.25	10. 2	10.12	2日遅	2日早	少ない	少ない	少ない	良	98	0
東南部	485	511	95	10. 2	10.14	…	並み	並み	少ない	平年並み	少ない	平年並み	58	△ 4
県 北	426	458	93	8.21	10.15	…	4日遅	並み	やや少ない	やや少ない	少ない	やや良	50	△ 23
五 島	337	408	83	8.16	10. 2	10.13	6日遅	3日遅	少ない	平年並み	少ない	やや不良	99	△ 1
壱岐・対馬	457	446	102	8.20	9.26	10.13	1日早	2日早	少ない	やや多い	少ない	良	98	2
熊 本	512	515	99	8.17	10. 5	…	2日早	2日早	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良	73	4
県 北	529	528	100	10. 3	10.13	…	2日早	3日早	平年並み	やや少ない	やや少ない	やや良	61	3
阿 蘇	503	510	99	9.16	9.27	…	2日早	3日早	少ない	多い	少ない	良	86	△ 5
県 南	505	510	99	9. 6	10. 6	…	4日早	4日早	少ない	やや多い	やや少ない	やや良	80	10
天 草	392	437	90	8. 4	8. 9	10.10	並み	1日遅	少ない	少ない	少ない	やや良	97	0
大 分	495	503	98	9.18	10.14	…	並み	2日早	少ない	やや多い	少ない	やや良	55	△ 3
北 部	507	517	98	9.18	…	…	…	…	平年並み	やや少ない	少ない	やや良	45	0
湾 岸	496	500	99	9.16	10.15	…	1日遅	1日早	少ない	やや多い	少ない	良	51	△ 7
南 部	489	498	98	9.20	10.14	…	1日遅	3日早	少ない	多い	少ない	やや良	60	0
日 田	479	490	98	9.15	10. 3	…	2日遅	1日早	少ない	多い	少ない	良	75	△ 8
宮 崎	496	495	100	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
早期栽培計	479	478	100	8. 1	8. 7	8.17	7日遅	8日遅	少ない	やや多い	やや少ない	やや良	100	0
広域沿海	479	478	100	8. 1	8. 7	8.17	7日遅	8日遅	少ない	やや多い	やや少ない	やや良	100	0
普通栽培計	509	509	100	9.30	10.13	…	1日早	並み	少ない	やや多い	やや少ない	良	61	△ 2
広域沿海	450	471	96	9.23	10. 8	…	1日早	1日遅	少ない	やや多い	やや少ない	やや良	85	2
広域霧島	540	529	102	10. 3	…	…	…	…	少ない	やや多い	やや少ない	良	45	△ 5
西北山間	485	488	99	9.25	10. 8	…	1日遅	並み	少ない	平年並み	少ない	良	82	0
鹿 児 島	479	479	100	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
早期栽培計	430	439	98	7.31	8. 6	8.16	3日遅	3日遅	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良	100	0
薩摩半島	433	440	98	7.31	8. 7	8.13	3日遅	3日遅	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	100	0
大隅半島	442	449	98	8. 2	8. 7	8.20	3日遅	3日遅	少ない	やや少ない	少ない	良	100	0
熊毛・大島	402	412	98	7.23	7.28	8. 5	5日遅	5日遅	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良	100	0
普通栽培計	494	492	100	10. 5	10.15	…	1日遅	1日遅	少ない	やや多い	やや少ない	良	52	△ 9
薩摩半島	470	473	99	10. 3	10.12	…	2日遅	1日遅	少ない	やや多い	少ない	良	68	△ 17
出水薩摩	499	491	102	10. 8	…	…	…	…	少ない	やや多い	やや少ない	やや良	32	△ 20
伊佐始良	510	512	100	10. 5	…	…	…	…	少ない	やや多い	やや少ない	やや良	48	5
大隅半島	474	471	101	9.26	10. 9	…	1日遅	並み	少ない	やや多い	少ない	良	83	△ 6

注： 1 刈取期の始期とは刈取済面積割合が5%、最盛期は同50%、終期は同95%にそれぞれ達した期日です。
 2 「…」は10月15日現在において、その期日に達していないことを示しています。
 3 宮崎県及び鹿児島県の県平均の「刈取期」以降の指標は、調査を早期・普通期別等に行っており県平均をとりまとめているため、「…」で示しています。

【参考 1】

平成22年産水稻の作柄表示地帯別の作況指数（10月15日現在）

区 分	作 況 指 数	区 分	作 況 指 数
福 岡	97	宮 崎	100
福 岡	97	広域沿海	99
北九州・豊前	100	広域霧島	102
筑 豊	97	西北山間	99
北筑後	97	早期栽培計	100
南筑後	95	広域沿海	100
佐 賀	94	普通栽培計	100
佐 賀	94	広域沿海	96
松 浦	91	広域霧島	102
長 崎	94	西北山間	99
西 彼	91	鹿 児 島	100
東南部	95	薩摩半島	99
県 北	93	出水薩摩	101
五 島	83	伊佐始良	100
壱岐・対馬	102	大隅半島	100
熊 本	99	熊毛・大島	97
県 北	100	早期栽培計	98
阿 蘇	99	薩摩半島	98
県 南	99	大隅半島	98
天 草	90	熊毛・大島	98
大 分	98	普通栽培計	100
北 部	98	薩摩半島	99
湾 岸	99	出水薩摩	102
南 部	98	伊佐始良	100
日 田	98	大隅半島	101

【参考 2】

平成22年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況及び10a当たり収量内訳(概数値)

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別された玄米の重量としています（【参考3】参照）。
 農家等が販売するために使用している選別ふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合とふるい目幅別10a当たり収量の概数値を示すと次のとおりです。

単位 { 重量割合：％
平均対差：ポイント

区 分	合 計	ふ る い 目 幅						
		2.00mm	1.90mm	1.85mm	1.80mm	1.75mm	1.70mm	
九 州	重量割合	100.0	76.6	16.1	3.1	2.1	1.3	0.8
	平均対差		16.7	△ 10.3	△ 2.9	△ 1.6	△ 1.1	△ 0.8
福 岡	重量割合	100.0	78.8	14.2	3.1	1.9	1.3	0.7
	平均対差		18.2	△ 11.1	△ 3.3	△ 1.9	△ 0.9	△ 1.0
佐 賀	重量割合	100.0	76.1	16.6	3.0	2.0	1.4	0.9
	平均対差		15.7	△ 8.7	△ 2.9	△ 2.4	△ 1.0	△ 0.7
長 崎	重量割合	100.0	68.9	21.9	4.2	2.7	1.3	1.0
	平均対差		14.5	△ 6.5	△ 2.5	△ 2.5	△ 1.9	△ 1.1
熊 本	重量割合	100.0	76.6	16.0	3.0	2.2	1.4	0.8
	平均対差		16.0	△ 10.5	△ 2.5	△ 1.1	△ 1.0	△ 0.9
大 分	重量割合	100.0	71.7	19.4	3.9	2.6	1.5	0.9
	平均対差		17.8	△ 9.8	△ 3.7	△ 1.9	△ 1.8	△ 0.6
宮 崎	重量割合	100.0	80.2	13.9	2.4	1.6	1.2	0.7
	平均対差		16.4	△ 11.4	△ 2.8	△ 1.2	△ 1.5	△ 0.5
鹿 児 島	重量割合	100.0	80.0	14.2	2.5	1.6	1.1	0.6
	平均対差		17.8	△ 11.4	△ 3.0	△ 1.7	△ 0.9	△ 0.8

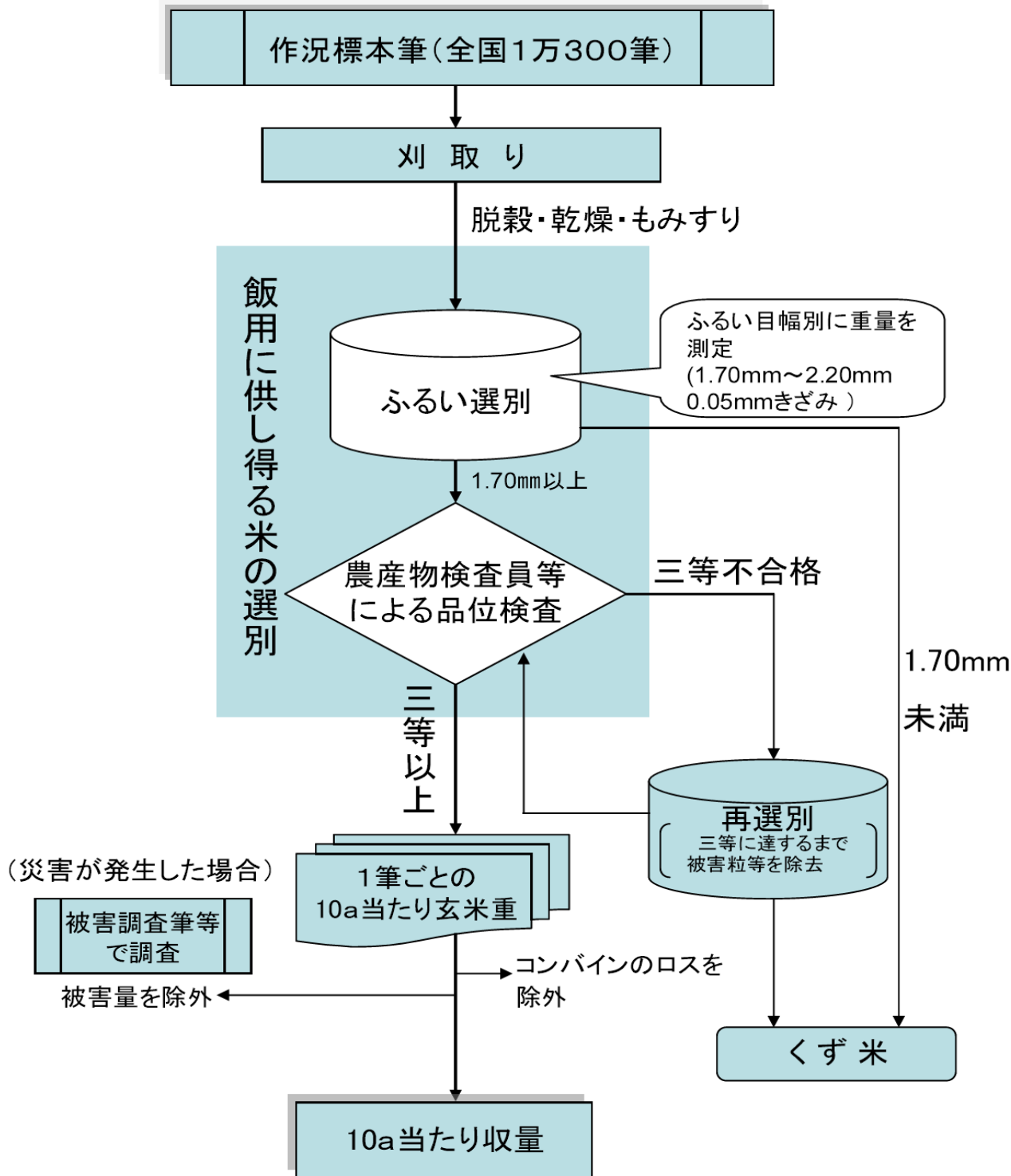
単位：kg

区 分	10a 当 たり 収 量 (1.70mm 選 別)	選 別 ふ る い 目 幅 別 10a 当 たり 収 量				
		2.00mm	1.90mm	1.85mm	1.80mm	1.75mm
		選 別	選 別	選 別	選 別	選 別
九 州	491	376	455	470	481	487
福 岡	486	383	452	467	476	483
佐 賀	493	375	457	472	482	489
長 崎	449	309	408	427	439	445
熊 本	512	392	474	489	501	508
大 分	495	355	451	470	483	491
宮 崎	496	398	467	479	487	493
鹿 児 島	479	383	451	463	471	476

- 注：1 平均対差に用いた平均値は、直近5カ年の重量割合の平均値です。
 2 選別ふるい目幅別10a当たり収量とは、表頭のふるい目幅を使用した際に得られる10a当たり収量のことです。
 3 未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいます。

収穫量調査の流れ

収穫量調査は、飯用に供し得る米の全量を把握することを目的として、作況標本筆（【参考4】参照）ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格規程三等以上の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別を行い、その重さを計測しています（下図参照）。



作況標本筆とは

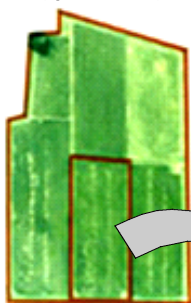
収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆(1枚のほ場を筆と呼びます。)は、各都道府県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて以下のように各地で選定し(全国で約1万300筆)調査しています。

都道府県内の全耕地
(母集団)



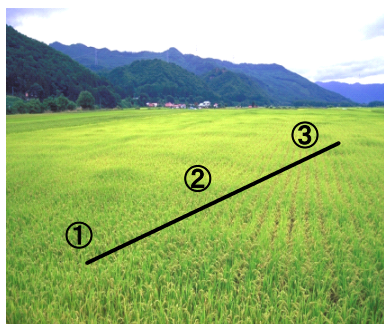
- ① 都道府県ごとの耕地を、約2haの区画に区切った単位区の集まり(調査母集団)として整理し、その中の水田を含むものから、無作為抽出法(人間の恣意を排したくじ引きの様な選び方)により「標本単位区」を選んでいます。

標本単位区
(約2ha)



- ② 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としています。

作況標本筆
(全国で約1万300筆)



- ③ 各作況標本筆の対角線上の3か所を実測調査箇所として、サンプル採取(坪刈り)を行っています。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び水稻調査の中の予想収穫量調査として実施し、水稻の作付面積、作柄状況・予想収穫量を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、技術指導等の農林水産行政推進のための資料とすることを目的としています。

2 調査期間

- (1) 作付面積調査： 7月15日現在
- (2) 予想収穫量調査： 10月15日現在

3 調査方法

(1) 作付面積調査

調査は、標本単位区に対する統計・情報センター職員及び統計調査員による実測調査並びに同センター職員による巡回・見積りにより行いました。

(2) 予想収穫量調査

調査は、作況標本筆、作況基準筆及び被害調査筆に対する統計・情報センター職員による実測調査及び作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより行いました。

4 調査客体数

(1) 作付面積調査

標本単位区：6,016単位区 巡回・見積り：233市町村

(2) 予想収穫量調査

作況標本筆：1,495筆 作況基準筆：154筆 巡回・見積り：233市町村

5 用語の解説

- 「青刈り」とは、子実の生産以前に刈り取られるもので、飼肥料用などとして用いられるものです。
なお、青刈りには、稲発酵粗飼料（ホールクロップサイレージ）、わら専用稲を含みます。
- 「穂数の多少」は、1㎡当たりに出穂したすべての穂の数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。
- 「1穂当たりもみ数の多少」は、1穂についているすべてのもみの平均数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。
- 「全もみ数の多少」とは、1㎡当たりのすべてのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。
- 「登熟の良否」とは、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比較して良いか悪いかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表しています。
- 上記の平年比較とは、過年次の作況標本筆結果から作成した1㎡当たり穂数等の各収量構成要素の平年値との比較です。

多少(良否)	少ない(不良)	やや少ない(やや不良)	平年並み	やや多い(やや良)	多い(良)
対平年比	94%以下	95～ 98%	99～101%	102～105%	106%以上

- 作況指数とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり予想収量の比率です。
- 10a当たり平年収量とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合や作付変動等を考慮し、実収量のすう勢を基に作成したその年に予想される10a当たり収量をいいます。

6 利用上の注意

- 予想収穫量調査（10月15日現在）は、収穫を終えた地域では刈取実測により行いましたが、一部収穫を終えていない地域では、もみ数、登熟状況等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行いました。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがあります。

7 その他

本調査についての確定値は、「平成22年産水陸稲の収穫量」として12月上旬に公表する予定です。

【関連リンク】

九州農政局ホームページ>統計情報

<http://www.maff.go.jp/kyusyu/toukei/index.html>

九州農政局ホームページアドレス

<http://www.maff.go.jp/kyusyu/index.html>

問い合わせ先

◎本統計調査結果について

連絡先：九州農政局 統計部

生産流通消費統計課 生産統計第1・2係

電話：(代) 096-353-3561 内線 4753・4754

直通電話： 096-353-7574

◎農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局 統計部

統計企画課 企画係

電話：(代) 096-353-3561 内線 4724

直通電話： 096-353-7554



10月18日は統計の日



「統計の日」標語

「この国の 確かな選択 支える統計」